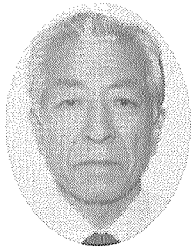


## 第35回 (社)北海道建築士会全道大会 (留萌大会) のご案内

大会テーマ 「大地に根ざした北の建築士」  
サブテーマ 風に見えるまち留萌から・・・



第35回 社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長  
社団法人北海道建築士会留萌支部 支部長 安田 国 雄

第35回 北海道建築士会全道大会は、「留萌大会」として、留萌支部の留萌分会、羽幌分会、北部分会からなる実行委員会を立ち上げ開催します。

留萌での開催は、豪雨のため中止となりました昭和63年の「まぼろしの留萌大会」以来2度目の開催となりますが、今回は無事に開催できることを留萌支部全会員が願っているところであります。

留萌支部は1市7町1村全てが日本海に面しており、南北194Kmに及ぶ海岸線は「日本海オロロンライン」として親しまれ、暑寒別天売焼尻国定公園などの景勝地を有する自然に恵まれた地域です。

また、留萌沿岸は江戸時代より、昭和30年頃まで百年以上にわたりニシン漁の(千石場所)として名を馳せ、当時を偲ぶ建築物が北海道遺産に選定されています。

我々建築士は、日本海の荒波と吹き上げる強風にされされる厳しい自然と向き合い「大地に根ざした北の建築士」として、先人たちが育んだ歴史や遺産を守りながら少子高齢化、地球温暖化などの近年の課題解決に積極的に取り組み「安心で安全なまちづくり」を目指してまいります。

南は増毛町の国稀酒造(日本最北の造り酒屋)で始まり、北は幌延町のトナカイソーセージまで美味しいものが豊富で人情味ある留萌へ、会員の皆様のお越しを心よりお待ちしております。

### [大会プログラム]

月 日	時 間	内 容	会 場
10月1日(金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	とままえ温泉ふわっと
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:風と共に在る町 風力の活用=エネルギー から遊びまで	とままえ温泉ふわっと
	18:30~20:30	懇親会	とままえ温泉ふわっと
10月2日(土)	10:00~	来賓・大会参加者受付開始	留萌市民センター1階「ロビー」
	10:30~12:00	理事・支部長・事務局長合同会議	留萌市民センター1階「講堂」
	12:00~13:00	昼食(弁当)	留萌市スポーツセンター「体育館」
	13:00~14:45	分科会 A分科会(女性委員会) B分科会(まちづくり委員会) C分科会(青年委員会) D分科会(情報委員会)	留萌市民センター2階「研修室C室」 留萌市民センター2階「研修会議室1号」 留萌市スポーツセンター 小体育館 留萌市民センター1階「視聴覚室」
	15:00~16:30	大会式典	留萌市民センター1階 大ホール
	16:45~18:00	基調講演	留萌市民センター1階 大ホール
	18:15~20:15	懇親会	留萌市スポーツセンター「体育館」

## 分科会

### A分科会 住まいと素材 ～自然の恵みを暮らしの中へ～

女性委員会

「ニッポンの建築素材」が日本建築士会連合会より発行され、女性委員会では北海道の素材を担当しました。かつて、住まいは本来その土地で手に入る、その気候風土にあった身近な材料で造られていました。しかし、現代の家は、工業製品で造ることがあたり前のようになり、地域の素材や自然素材を使う機会は少なくなっています。合理性も大切ですが、住まいには自然の恵みである素材や五感を生かしたくらしの空間が必要ではないでしょうか。

A分科会では、ワークショップ形式で北海道の気候や住まいにあった素材の発見や見直し、素材が生きる工法、さらに未来にまで大切に使い続けられる工夫など、くらしかたの視点から北海道の建築素材を考えていきたいと思います。

### B分科会 「しがみつかないまちづくり」 ～日本海に輝く夕日に向かって歩みだそう～

まちづくり委員会

未曾有の不景気の中、あちこちで「地域再生」や「地域活性化」などを掲げた取組みが展開されていますが、その中には、高度成長期やバブル期の華やかさ、豊かさを追い求めるような「夢よもう一度」的な発想のものも少なくありません。

留萌は、ニシン漁で栄えた歴史があり、その遺産は私たちの誇りとして受け継がれていますが、それらが次代の豊かな暮らしを支える柱になるという確証はあるのでしょうか。

昨年、「しがみつかない生き方」という本が評判になりました。「ふつうの幸せ」を手に入れるには、お金やモノにしがみつかないこと、曖昧さやムダ、非効率を楽しむこと……。まちづくりもなにか通じるところがありそうです。

B分科会では、立場や地域、経過や過去にとらわれず、新たな視点でまちづくりを仕掛けている方のお話を伺い、参加者一人一人が、明日への一歩を踏み出す元気を得られる会にしたいと思います。

### C分科会 明日 (earth) のために ～いま創り、伝えなければいけないこと～

青年委員会

地球温暖化の防止を行うために建築部門では、2030年までに予想される温室効果ガス排出量の約30%を正味の経済便益で削減可能であるとされています。

生命を守る器を造るのが建築ですが、地球の命を守るためには明日 (earth) を考えることが必要になっています。

C分科会では今までの地球環境に対する建築の取り組みや、今後について講演していただき、私たち建築士は、何を学び・何を創り・そして何を伝え繋げるかを考えたいと思います。

### D分科会 知りたい・伝えたい・繋ぎたい ～情報の群衆を目指して～

情報委員会

情報は「なまもの」。これをいかに使いこなしていくかは、各支部会員の皆さまの腕に掛かっています。たとえば自分たちの支部を活性化して行くのに当り、ほかの支部でどんな活動をしているかを知りたいと思っても、全ての支部に確認するのは大変です。

でも、そんなとき各支部から情報が発信されていると、どんな小さなことからでも発見があります。そんな繋がりを持つために、私たちは何をすべきでしょうか。

D分科会では、支部間のコミュニケーション、情報発信、これからの「情報」の発信方法についてワークショップを行い、情報のあり方を考えたいと思います。

基調講演 演題：「8月26日 その日の風」

講師：フリーキャスター 菅井貴子

全国各地、放送局のニュース、レポート、教育番組等、を担当。現在は、NHK札幌放送局 気象キャスター。  
「おはよう北海道」「つながる@きたカフェ」出演中。気象予報士・防災士・CEP（フィナンシャル・プランナー）  
2009年12月「なるほど！北海道のお天気」を出版  
天気を切り口に、環境、産業、経済等、幅を広げるべく、研究、活動中。  
NPO気象キャスターネットワーク会員。「環境問題って？」などの出前授業、講演、コラムなども執筆。

青年サミット

□プログラム

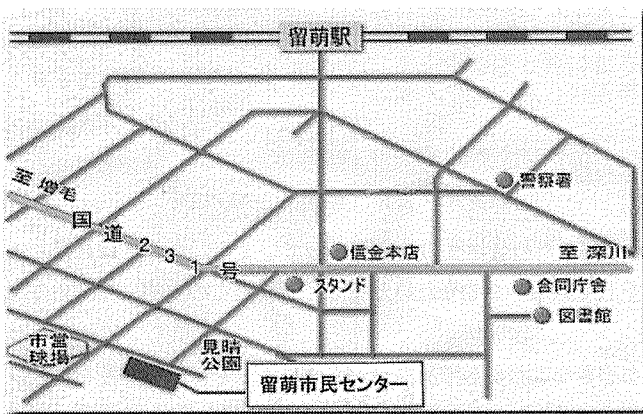
- 13:00~13:30 受付、チェックイン
- 13:30~13:40 挨拶、説明
- 13:40~15:00 1、幕張構造の説明 2、風力発電の説明
- 15:00~16:30 凧制作
- 16:30~17:30 施設見学（風車、幕張施設）
- 17:30~18:30 移動時間
- 18:30~20:30 懇親会

□会場 とままえ 温泉ふわっと 〒078-3701 苫前郡苫前町字苫前119番地の1 TEL：01646-4-2810

テーマ：「風と共に在る町 風力の活用＝エネルギーから遊びまで」

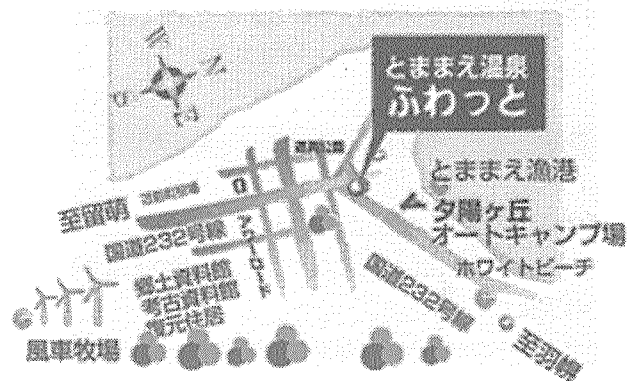
主旨：留萌地方は日本海型の気候であり、風速20m/s以上となる日や、5mを超える波浪が発生する日も珍しくありません。今、留萌地方では「風」という自然エネルギーを生かしたまちづくりが進められています。人々が心豊かに暮らすためには、豊かな自然（風）と共存して生活することが必要であり、会場である苫前町では、毎年2月末に冬季の大きなイベントである「北海道凧あげ大会・苫前町凧あげ大会」が開かれています。古くからの風を利用した遊びである凧の製作体験を通して、自然とエネルギーのつながりについて理解し、環境を大切にすることとエネルギーを大切に使うことについて学びたいと思います。

第35回全道大会会場ご案内



○大会・懇親会会場

留萌市民センター及び留萌市スポーツセンター  
〒077-0033 留萌市見晴町2丁目 TEL:0164-42-2917



○サミット会場

とままえ温泉ふわっと  
〒078-3701 苫前郡苫前町字苫前119番地の1  
TEL 01646-4-2810